

# 14 菌 類



## 14 菌類

きのこ類をレッドリストに挙げることについて、他の植物や動物の分類群と異なっている点は、きのこ（子実体）が確認できないからといって、そのことがすぐにきのこが存在しないことには結びつかないということである。きのこ（子実体）は植物に例えれば花にあたり、その本体である菌糸は地中あるいは材中に存在していて、いわばその開花条件（主に水分、温度）が揃った時に初めてきのこ（花）として地上あるいは材上に現れるものである。開花条件が揃わなければきのこ（花）は発生しないこともある。でもきのこが発生していないからといって、そのきのこが絶滅の恐れがあるとは言えないのである。このようなことからレッドリストの選定にあたっては慎重にならざるを得ず、短期間の調査では不十分であるので、今回の改訂にあたっては調査期間以前のデータがあるものについて重点的に行った。

今回の改訂では新たに1種を追加し1種を削除することとした。またカテゴリーの変更を9種で行った。新たに追加するのはキツネノサカズキで、環境省（2007）で絶滅危惧Ⅱ類に記載されており、広島県で発生が確認されているのは1か所で2009年に2個体、2015年に1個体確認後県内で確認されていないため絶滅危惧Ⅱ類として追加することとした。削除するのはオオウスムラサキフウセンタケで、亜高山帯の針葉樹林（トウヒ、コメツガ等）に発生することが知られているが広島県にそのような林相はない。同定の誤りであった可能性があるが現在標本は残っておらず不明である。以後も確認されていないので削除することとした。

カテゴリーを絶滅危惧Ⅱ類からⅠ類に変更した種または準絶滅危惧から絶滅危惧Ⅰ類に変更した種については、前回の改訂版（2011）以降県内で確認されていないため変更した。また準絶滅危惧からⅡ類に変更したバカマツタケについては環境省（2007）で準絶滅危惧に記載されている種で、県内では1か所で確認されていたが10年くらい前から確認されていないので変更した。

マツタケについては最近国際自然保護連合から絶滅危惧種に指定されたとマスコミで話題になっているが、環境省（2007）では準絶滅危惧とされており、広島県でも2011年に準絶滅危惧にしている。県の統計によると広島県では最盛期には2000トン近くの生産量があったが最近では200kg前後となっており最盛期の1万分の1となっている。このまま減少を続けるとランクを上げていくことも考えなくてはならなくなるであろう。

(川上嘉章)

### 菌類選定種

#### 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）

- 1 ホシミノヌメリガサ（仮称）
- 2 アケボノタケ
- 3 ケショウシメジ
- 4 ザラツキテングタケ
- 5 キヌオオフクロタケ
- 6 ゴヨウイグチ
- 7 アカヒトデタケ

#### 絶滅危惧Ⅱ類（VU）

- 1 クチキトサカタケ
- 2 キツネノサカズキ
- 3 ニセマツタケ
- 4 バカマツタケ

#### 5 キヒダイッポンシメジ

- 6 アキノアシナガイグチ
- 7 タマノリイグチ
- 8 タマチョレイタケ
- 9 チョレイマイタケ

#### 準絶滅危惧（NT）

- 1 コウボウフデ
- 2 ドングリキンカクキン
- 3 キンチャワントケ
- 4 トガリツキミタケ
- 5 ナナイロヌメリタケ
- 6 マツタケ
- 7 ムレオオイチョウタケ

#### 8 モミタケ

- 9 カバイロコナテングタケ科
- 10 カブラマツタケ
- 11 ソライロタケ
- 12 コンイロイッポンシメジ
- 13 ナスコンイッポンシメジ
- 14 オオヤシャイグチ
- 15 アヤメイグチ
- 16 アシナガイグチ
- 17 ヒメウグイスイグチ
- 18 ダイダイイグチ
- 19 ウツロイグチ
- 20 ルリハツタケ

- 21 シロアンズタケ
- 22 ヤマブシタケ
- 23 マイタケ
- 24 コマタケ
- 25 マツバハリタケ
- 26 カラストケ

**ホシミノヌメリガサ(仮称) 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤**

*Hygroaster nodurispurus* (Dennis) Singer  
ハラタケ綱ハラタケ目 ヌメリガサ科

環境省: なし  
広島県 2011: VU  
広島県 2003: VU

概要	自然林の林地に発生する。分布・生態は不明。 傘は径 1 cm くらい、黒褐色で微細な鱗片があり、中央部はろうと状に深くくぼむ。ひだは白色でまばら、垂生する。柄は傘と同色。胞子にはとげがあり星形になっている。
生息・生育状況	1986 年アカマツ・コナラ林の明るい切り通しで発見され、その後数年観察されていたが、発生地周辺が宅地開発され環境が変化して以来発生を確認できない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	林地が宅地開発の影響で環境が変化した。
特記事項	広島県 2011 版では絶滅危惧 II 類としたが、その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	広島市(東区)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.  
広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

**アケボノタケ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤**

*Hygrocybe calyptraeformis* (Berk. et Br.) Fayod.  
ハラタケ綱ハラタケ目 ヌメリガサ科

環境省: なし  
広島県 2011: NT  
広島県 2003: NT

概要	自然林、竹林、草地に夏から秋に発生する。 全体が薄いバラ色から淡桃紫色。傘は径 3~10 cm, 中心部は円錐状に突出する。ひだは幅広くまばらで上生する。柄は中空で繊維状条線があり、しばしばねじれる。
生息・生育状況	遊歩道のそばに発生していたが周辺の雑草等が刈られ環境が変化したため、最初に確認して以後発生を確認していない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生していた場所の周辺の雑草が刈られて土地の乾燥する原因となったものと思われる。
特記事項	広島県 2011 版では準絶滅危惧としたが、その後各発生場所や県内での発生が確認できないため I 類とした。
産地情報	三次市(三和), 廿日市市(吉和)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

**ケショウシメジ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤***Tricholoma orirubens* Quel.

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環 境 省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概 要	秋, 広葉樹林 (コナラ) に発生する。 傘は径 3~8 cm, くすんだ淡灰褐色で中央部は暗灰褐色, 初め平滑のち細かい鱗片状になる。ひだは白色のちしだいに赤味を帯びる。傷つけると淡紅色に変色する。
生息・生育状況	県内では庄原市や廿日市市で観察例があったが, 以後それらの場所や県内で確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地およびその周辺の広葉樹林の一部が伐採され環境が変化した。
特記事項	広島県 2011 版では準絶滅危惧としたが, その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	庄原市 (東城, 口和), 廿日市市 (吉和)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

**ザラツキテングタケ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤***Amanita aspera* Pers.

ハラタケ綱ハラタケ目 テングタケ科

環 境 省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概 要	夏から秋, マツ林またはマツの混じる広葉樹林に発生する。 傘は径 6 cm 前後, 帯黄白色, オリーブ灰色, 淡褐色で硫黄色のつぼの破片が付く。ひだは白色で幅広く密。柄には上部に膜質硫黄色のつばがあり, つばより下には同色の鱗片がある。根元は球根状に膨らみ, つばは浅い。
生息・生育状況	1986 年に確認されて以後発生が確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺が宅地開発され環境が変化した。
特記事項	広島県 2011 版では準絶滅危惧としたが, その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	広島市 (東区)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

**キノオオフクロタケ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤**

*Volvariella bombycina* (Schaeff. : Fr.) Singer  
ハラタケ綱ハラタケ目 ウラベニガサ科

環 境 省: DD  
広島県 2011: VU  
広島県 2003: なし

概 要	夏から秋、広葉樹の枯幹上に発生する。 傘は径 8~20 cm, 淡黄色で微細な絹糸状の毛または小鱗片に密に覆われる。ひだは離生し密, 初め白色のち肉色となる。柄の根元は少し膨らみ, 大きな膜質, 袋状のつぼを備える。
生息・生育状況	1998 年ごろ広島市の平和大通りで観察されて以後, その樹木の腐朽が進み子実体が確認されなくなった。県内では他では確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	枯れ木に発生するので普及が進むにつれ栄養分がなくなっていき子実体の発生が見られなくなる。
特記事項	広島県 2011 版では絶滅危惧 II 類としたが, その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	広島市 (中区)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**ゴヨウイグチ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤**

*Suillus placidus* (Bonorden) Singer  
ハラタケ綱イグチ目 スメリイグチ科

環 境 省: なし  
広島県 2011: VU  
広島県 2003: なし

概 要	夏から秋, ゴヨウマツなどの五針葉マツの樹下に発生する。 傘は径 3~10 cm, 粘性があり, 初め白色のち黄から黄褐色となり, 粘液はしばしば灰褐色を帯びる。管孔は直生からやや垂生し, 初め白色のち淡黄色となる。孔口は小型でしばしば淡紅色の液を分泌する。柄は白色のち淡黄色となり, 紫褐色から灰褐色の粒点がある。
生息・生育状況	1998 年ごろ観察されているが, 寄主のゴヨウマツが枯れて以来確認されていない。県内の他の場所でも確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	寄主のゴヨウマツが枯れれば子実体も発生しなくなる。
特記事項	広島県 2011 版では絶滅危惧 II 類としたが, その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	広島市 (東区)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**アカヒトデタケ 絶滅危惧 I 類(CR+EN) CR+EN-⑤**

*Aseroe coccinea* Imazeki et Yoshimi

ハラタケ綱スッポントケ目 アカカゴタケ科

環境省: なし

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	夏から秋, もみがら, おがくず, わら, 馬糞などに発生する。 幼菌は類球形で白色, 径 1~1.5 cm, 基部に白色の根状菌糸束がある。成熟すると頂端が裂開して柄を伸ばし, 続いて 7~9 本の腕を水平に開く。腕は鮮紅色で先端は尖り, 内部は単一の管状になっている。腕の基部には黒褐色の粘液質のグレバがあり, 悪臭を放つ。
生息・生育状況	子実体が確認されて以後の発生が確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	もみがら, おがくず, わらなど発生場所が限られているため, そういった場所で子実体が形成されるような湿度になるケースも少ないと思われる。
特記事項	広島県 2011 版では絶滅危惧 II 類としたが, その後その場所や県内で発生を確認できないため I 類に変更した。
産地情報	三次市 (三次), 庄原市 (庄原, 東城)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**クチキトサカタケ 絶滅危惧 II 類(VU) VU-①**

*Ascoclavulina sakaii* Otani

ズキンタケ綱ビョウタケ目 ビョウタケ科

環境省: なし

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	夏から秋, ブナの倒木上に発生する。 くさび形で塊状の基部から多数のこん棒状あるいは扁平状の突出を生じ, 全面に子実層ができる。灰緑黄色。大きさ 5~9×3.5~7 cm, 高さ 3.5~5 cm。水酸化カリ液中で濃紫色の色素を出す。
生息・生育状況	2011 年に県内 1 か所 (当初より減っている) 確認されて以後, その場所や他の場所での発生が確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	ブナの倒木が減少しているのかもしれない。でもこの先県内にブナ林がある限りブナの倒木は出てくると思われるので発生の可能性はある。
特記事項	—
産地情報	廿日市市 (吉和), 北広島町 (芸北)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**キツネノサカズキ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②**

*Galiella japonica* (Yasuda) Otani

チャワタケ綱チャワタケ目 クロチャワタケ科

環境省: VU

広島県 2011: なし

広島県 2003: なし

概要	初夏, アカマツの落葉や落枝上, 腐朽した樹皮やまつかさ上に発生する。 幼菌は倒洋ナシ形, のち頂部が星状に裂けてしだいに子実層面を露出し, 椀状から盤状になる。星状に裂けた周縁はのち外側に反り返る。裂開した椀の径は 4 cm くらい, 深さ 5 mm くらい。子実層面は新鮮時, 褐色から肉桂色, 乾燥するにつれ暗褐色を経て焦げ茶色となる。
生息・生育状況	県内で確認されている場所で 2015 年に 1 個体確認されて以後確認されていない。県内の他の場所でも確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生していた場所はよく管理され落ち葉や落枝などが除去されている。本菌はアカマツの落葉や落枝などに発生するという点で発生環境が悪化している。
特記事項	これまで絶滅危惧種に入れてなかったが, 県内での発生が今の所 1 か所であること, 発生場所がよく管理されておりきのこの発生には環境悪化になり, 2015 年以降発生が見られなくなったことから絶滅危惧Ⅱ類とした。
産地情報	北広島町 (大朝)

川上嘉章 2002. 広島県芸北町のキノコ類. 高原の自然史, (7): 1-25.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**ニセマツタケ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②**

*Tricholoma fulvocastaneum* Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環境省: NT

広島県 2011: VU

広島県 2003: なし

概要	初秋, 広葉樹林に発生する。 マツタケによく似るが, 本種はマツタケ臭がほとんどなく, やや小型, 肉質が軟らかく, 柄の下部が細まり, 数本が束生して発生することが多い, 広葉樹林に発生する, という点で区別できる。
生息・生育状況	1985 年ごろまでは少しずつ発生が確認できていたがそれ以後確認できなかった。その後 2018 年にたくさん発生が確認できた。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺のアカマツ林が枯れ環境が変化したと思われる。
特記事項	—
産地情報	廿日市市, 世羅町 (甲山)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## バカマツタケ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②

*Tricholoma bakamatsutake* Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環境省: NT

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	夏から初秋, コナラ, ミズナラ, マテバシイなどの広葉樹林に発生する。 マツタケによく似るが, 本種はマツタケ臭がより強く, やや小型, 肉質が軟らかく, 全体により濃色である。柄は上下同大で基部は細まらない。風味はマツタケに劣らず珍重されている。
生息・生育状況	以前から発生が確認できていたが最近では確認できない年が多い。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	広葉樹林がナラ枯れなどにより環境が悪化している。またマツタケと似ているので採取されることも多いと思われる。
特記事項	広島県 2011 版では準絶滅危惧としたが, その後その場所や県内で発生を確認できていないため絶滅危惧Ⅱ類に変更した。
産地情報	庄原市(東城)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## キヒダイツポンシメジ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②

*Entoloma kansaiensis* Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 イツポンシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	夏から秋, アカマツ・コナラ林に発生する。 傘は径 5~6.5 cm, 表面には多少放射状のしわがあり, ことに中央部において微鱗片に覆われるかまたはややピロード状を呈する。周辺部は灰黄から淡オリーブ黄色, 中央部は暗オリーブ類黒色。ひだは湾生またはほとんど離生, やや疎からやや密, 黄色のち肉色を帯びる。柄の根元はしばしば根状となる。
生息・生育状況	1986年に確認されているが以後その場所では確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺が宅地化され発生環境が変化した。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.

(川上嘉章)

## アキノアシナガイグチ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②

*Boletellus longicolis* (Ces.) Pegler et T.W.K.Young

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: DD

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	夏から秋、シイ林に発生する。 傘は赤褐色で粘液に覆われ多くのしわがある。柄は傘より淡色で粘液に覆われる。つばは広くて白色。 管孔は上生から湾生し、淡黄色のち暗オリーブ色、孔口も同色。
生息・生育状況	1986年日本で初めて東区の広島県緑化センターで確認された。以後もその林で確認されているが最近周辺に作業道が作られ環境が変化し、発生量が減少しているように思われる。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺に作業道を作るため樹木が伐採され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## タマノリイグチ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②

*Pseudoboletus astraicola* (Imazeki) Sutara

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	夏から秋、がけ土に発生するツチグリに寄生する。 傘は径3~5.5 cm, 表面は粘性なくフェルト状, 汚黄土色から灰褐色または暗褐色。管孔は直生からやや垂生し, 黄色のちオリーブ褐色。孔口は比較的小さく, 触れると青色に変化する。柄の頂部は黄色, 下方に向かって傘と同色。
生息・生育状況	1986年に確認, 2000年に確認後その場所や県内で確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺が公園として整備されてきて環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**タマチヨレイタケ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②**

*Polyporus tuberaster* (Jacq. ex Pers.) Fr.

ハラタケ綱タマチヨレイタケ目 タマチヨレイタケ科

環境省: なし

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	春から秋，林内地上または倒木・落枝などに発生する。 傘は径4～12 cm，浅いろうと形，柄は中心生。地上生のは地中に大きな菌核を持つ。倒木等に発生するとサジ型で柄は側生。傘の表面は淡黄褐色で濃色の鱗片をつける。管孔は垂生し類白色。強靱な肉質。
生息・生育状況	発生地は県内1か所で最近では発生したりしなかったりである。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地は登山道の近くなので地面が踏みつけられている可能性がある。
特記事項	—
産地情報	庄原市（西城）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**チヨレイマイタケ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-②**

*Dendropolyporus umbellatus* (Pers.) Julich

ハラタケ綱タマチヨレイタケ目 タマチヨレイタケ科

環境省: NT

広島県 2011: VU

広島県 2003: VU

概要	初夏から秋，広葉樹林地上または材上に発生する。 中型から大型。地上に発生するものは地中に複雑な形の菌核をもつ。柄はくり返し分枝し，多くのほぼ円形の小さな傘の集合体となる。傘は灰色から褐灰色，平滑から細鱗片状で，中央がやや窪む。管孔は白色。柄も白色。
生息・生育状況	県内の発生か所は1か所。発生したりしなかったりくり返している。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺が公園として整備されてきて発生環境が悪化している。
特記事項	—
産地情報	庄原市（西城）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**コウボウフデ 準絶滅危惧(NT) NT-b**

*Pseudotulostoma japonicum* (Kawamura) Asai, H.Sato et T.Nara  
エウロチウム綱エウロチウム目 ツチダンゴ科

環 境 省: DD  
広島県 2011: NT  
広島県 2003: NT

概 要	秋, 林内地上に発生する。 幼菌は地下生で, 長卵形, 汚白色から黄褐色。成熟後は殻皮が裂開し, 柄部が伸び, こん棒状で灰色の頭部をあらわす。胞子塊は紫色を帯びた灰色の綿くず状。柄は木質で紫灰色。根元に黄褐色の袋がある。
生息・生育状況	県内各所で数本ずつの発生が見られる。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生場所各地で樹木の伐採や管理道の設置などで環境が変化している所が多い。
特記事項	—
産地情報	広島市 (東区, 西区), 庄原市 (口和), 安芸高田市 (高宮)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.  
Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**ドングリキンカクキン 準絶滅危惧(NT) NT-b**

*Ciboria batschiana* (Zoph. : Fr.) Boch.  
ズキンタケ綱ビョウタケ目 キンカクキン科

環 境 省: なし  
広島県 2011: NT  
広島県 2003: NT

概 要	秋, 地上の, 落ちたドングリの実 (コナラ等) に発生する。 傘は淡茶褐色, 径は 3~7 mm, 皿形~椀形で中央が窪むが, のちに開いて平らになる。下面もほぼ同色。柄は長さ 2~5 cm, 太さ 1 mm で褐色, 下方に向かって細まり基物につく。
生息・生育状況	1986 年に確認されて以後その場所では確認されていない。別の場所で 2014 年に確認されたが以後は確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	生育場所がナラ枯れにより環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市 (東区), 北広島町 (芸北)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.  
広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

**キンチャワಂತケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Aleuria rhenana* Fuckel

チャワಂತケ綱チャワಂತケ目 ピロネマキン科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	夏から秋，林内地上に発生する。 子嚢盤は椀形から杯形。子実層面は橙黄色から鮮黄色。柄は短い円筒形，白色。子嚢胞子は表面に網目模様がある。
生息・生育状況	かつては時々確認されていたが数年前に確認されて以後見つかっていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の公園として整備され環境が変化した。
特記事項	—
産地情報	庄原市（口和），廿日市市（吉和）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**トガリツキミタケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Hygrocybe acutoconica* (Clem.) Sing. f. *japonica* (Hongo) Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 スメリガサ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋，林地に発生する。 傘は初め先のとがった円錐形，のちに平らに開くが，中央部は円錐状に突出，表面に粘性があり，黄色，中央部は橙色。ひだはほぼ離生し，淡黄色，やや疎，互いに脈で連絡する。柄は黄色で，縦の繊維紋がある。
生息・生育状況	2010年以後は確認されていなかったが2018年から少数ながら毎年確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺が宅地開発され環境が変化したところがある。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区），三原市（三原），府中市（府中），庄原市（西城），廿日市市（大野）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**ナナイロヌメリタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b**

*Griophorus laetus* (Pers.) Herink

ハラタケ綱ハラタケ目 ヌメリガサ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	春から秋、林内、竹林内、草地、ミズゴケ群落上などに発生する。 傘と柄は著しい粘液に覆われる。傘は径 2~3 cm, くすんだ橙黄色, 肉色またはピンク色にオリーブ、黄、灰紫色などをまじえ、湿っている時放射状の条線をあらわす。ひだは直生から垂生、疎、ピンク色から肉色でしばしば淡紫から淡青色をまじえる。柄の上部はピンク色、淡紫色または淡青色、下部はしばしば帯黄色、中空。
生息・生育状況	数年に一度 1 か所で確認されるくらい希少である。発生地周辺の宅地開発され環境が変化した所もある。
存在を脅かす要因・保全の留意点	発生地周辺の宅地開発され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区), 府中市(府中), 廿日市市(宮島)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**マツタケ 準絶滅危惧(NT) NT-c**

*Tricholoma matsutake* (S.Ito et Imai) Sing.

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環境省: NT

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	梅雨時期や秋におもにアカマツ林に発生する。 傘は径 8~20 cm, 時に 30 cm 以上, 表面は褐色の鱗片に覆われるが、放射状に裂けて白い地肌をあらわすことがある。縁部は幼時内側に巻き、柄の上部と綿毛状の被膜によってつながっている。ひだは湾生し白色で密、古くなると褐色のしみができる。柄はつばより上は白色、下部は傘と同様の褐色繊維状鱗片に覆われる。特有の臭気がある。
生息・生育状況	かつては全国一の約 2,000 トンという生産量であったが最近はその統計によると 1 トン以下である。発生地アカマツ林もマツ枯れなどで減少している。
存在を脅かす要因・保全の留意点	マツ枯れが進みアカマツ林の面積が減少している。子実体の多くが採取されるため胞子の拡散も少なく新しい発生地もできにくくなっている。
特記事項	生育地のアカマツ林の手入れを継続しマツタケ発生に適した環境を保っていく必要がある。また、マツ枯れに抵抗性のあるスーパーマツ苗を植栽していくことも継続して行っていく必要がある。
産地情報	広島市(東区, 安芸区), 府中市(府中), 三次市(三次, 吉舎, 三良坂), 庄原市(庄原), 東広島市(志和, 豊栄), 廿日市市(廿日市, 大野, 佐伯), 安芸高田市(吉田, 美土里, 甲田, 向原), 北広島町(芸北, 千代田), 世羅町(世羅, 甲山, 世羅西), 神石高原町(油木, 神石, 豊松)

広島県 1990 まつたけ山づくりのすすめ. 28 pp.

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

(川上嘉章)

## ムレオオイチョウタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Leucopaxillus septentrionalis* Sing. et A.H.Smith

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	夏から秋、広葉樹林に発生する。 大型。傘の表面は平滑、初め淡黄色のち淡褐色。ひだは黄白色、幅狭い、密、やや垂生。柄は太短く、淡黄褐色。肉は強い臭気あり。
生息・生育状況	10年前ごろに確認されていたが以後確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地およびその周辺の林が一部伐採され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区、佐伯区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## モミタケ 準絶滅危惧(NT) NT-c

*Catathelasma ventricosum* (Peck) Sing.

ハラタケ綱ハラタケ目 キシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、モミ林に発生する。 大型。傘の径 8~20 cm。傘は幼時半球形で、縁部が強く内側に巻き、柄の上部との間に白色の綿くず状膜質の被膜を包む。傘は、のち平らに開き、やがて縁部が反り返る。表面は平滑で灰白色、のち灰褐色。ひだは長く垂生し、白色からやや黄白色で幅狭く密。柄は中ほどがしばしば太まり、根元は急に細まる。つばは二重になっている。
生息・生育状況	モミ林に発生しているが、食材として採取されることも多く、最近は以前と比べて発生量も減少している。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	採取されることが多く、発生地のシロが傷みやすい。
特記事項	—
産地情報	庄原市（西城）、廿日市市（吉和）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**カバイロコナテングタケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Amanita rufoferruginea* Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 テングタケ科

環 境 省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概 要	夏から秋、アカマツ・コナラ林などに発生する。 傘や柄の表面が、明るい帯褐橙色の粉質物で密に覆われるのが特徴。傘には条線がある。ひだは白色で密。柄の上部には、白色で薄い膜質のつばがあるが崩れやすい。基部は膨らみ、粉質のつばがやや環状に残る。
生息・生育状況	広島市東区では毎年ではないが1～2本が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	マツ枯れにより発生地が環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）、世羅町（甲山）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**カブラマツタケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Squamanita umbonata* (Sumst.) Bas

ハラタケ綱ハラタケ目 ハラタケ科

環 境 省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概 要	夏から秋、ブナ科の樹下に発生する。 傘は円錐形から平開するが常に中央は円錐状に突出。傘の表面は茶褐色の繊維状鱗片に覆われる。ひだは直生から湾生、密。柄にも褐色の鱗片があり、基部はかぶら状菌糸塊があり、これと柄の境目に褐色の鱗片が輪状に並ぶ。
生息・生育状況	10年くらい前までは、毎年ではないが少数確認されていたが、その後は確認されていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の木が伐採され環境が変化した。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ソライロタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Entoloma virescens* (Berk. et M.A.Curtis) E.Horak

ハラタケ綱ハラタケ目 イッポンシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	秋, 林地に発生する。 全体が空色の美しいきのこで, 傷ついた部分は黄変する。 傘は径 2~3.5 cm, しばしば中心に乳首状の突起を備える。表面は細かい繊維状鱗片に覆われる。ひだは上生からほぼ離生し, 疎。柄は多少ねじれる。
生息・生育状況	従来から, 比較的まれにしか確認されないきのこであるが, 県内では所々で 1~2 本ぐらいが毎年ではないが確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	マツ枯れ等により発生地の環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	廿日市市 (宮島), 北広島町 (豊平), 世羅町 (甲山)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

川上嘉章 2002. 広島県芸北町のキノコ類. 高原の自然史, 7: 1-25.

(川上嘉章)

## コンイロイッポンシメジ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Entoloma cyanonigrum* (Hongo) Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 イッポンシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋, アカマツの混じった林内に発生する。 傘は径 3~7 cm, 表面は青黒色でしばしば浅いしわがある。ひだは上生, 湾生またはほとんど離生し, 白色のち肉色となる。柄は傘とほぼ同色で繊維状の縦線がある。
生息・生育状況	発生は少数 (1~2 本) で県内各地で毎年ではないが確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	マツ枯れ等により環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市 (東区), 三原市 (三原), 庄原市 (東城, 口和), 廿日市市 (宮島), 北広島町 (千代田)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ナスコンイッポンシメジ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Entoloma kujuense* (Hongo) Hongo

ハラタケ綱ハラタケ目 イッポンシメジ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、広葉樹林またはアカマツ・コナラ林に発生する。 傘は暗紫色、微細な鱗片に覆われる。ひだは白色のちピンク色、やや疎、湾生。肉は白色。柄は暗紫色、微細な鱗片に覆われ、中実。
生息・生育状況	発生は少数（1～2本）で県内各地で毎年ではないが確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	マツ枯れ等により環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（安佐南区）、廿日市市（吉和）、北広島町（千代田）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring（広島きのこ同好会会報） 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## オオヤシャイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Austroboletus subvirens* (Hongo) Wolfe

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、主としてシイ・カシ林に発生する。 傘は径4～8.5 cm、表面はビロード状で湿れば多少粘性をあらわし、オリーブ緑色のち帯黄土色、しばしば亀甲状にひび割れる。管孔は白色のち紅紫褐色。柄は淡黄色の地にオリーブ緑色の網目がある。
生息・生育状況	発生は少数。10年くらい前までは確認されていたがその後は未確認。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺に作業道が作られ環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring（広島きのこ同好会会報） 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## アヤマイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Boletellus chrysenteroides* (Snell) Snell

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、ミズナラ林およびブナ科樹種を混生したアカマツ林の腐植上または腐朽木上に発生する。傘は 3.5~7 cm, 褐色~暗褐紫色, 細かくひび割れる。柄は細鱗片状, 繊維状の模様があり, 頂部は黄色。中実。肉は淡黄色, 青変性がある。管孔は黄色のちオリーブ色を帯びる。青変性がある。
生息・生育状況	発生は少数(1~2本)で, 毎年ではないが数年ごとに発生を確認している。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の周辺が宅地開発されたり, 作業道が作られ環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区, 安佐南区), 庄原市(東城), 北広島町(芸北)

川上嘉章 2002. 広島県芸北町のキノコ類. 高原の自然史, 7: 1-25.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## アシナガイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Boletellus elatus* Nagasawa

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から初秋, シイ・カシ林などに発生する。傘は半球形から饅頭型, 赤褐色から栗褐色, 弱い粘性がある。柄は長いこん棒状で表面に縦長の隆起模様があり, ときに頂部に不明瞭な網目を有す。中実。傘の肉は白色, 柄の肉は帯褐色。管孔は黄色, のちオリーブ色を帯びる。
生息・生育状況	毎年ではないが県内各地で少数(1~2本)の発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の周辺が宅地造成され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区, 安佐南区), 三原市(三原), 庄原市(庄原), 北広島町(千代田)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ヒメウグイスイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Pulveroboletus viridis* Heinem. et Gooss.

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、クヌギ・コナラ林、アカマツ・コナラ林に発生する。 傘は径2~4 cm、表面はゼラチン様の粘質物で覆われ、灰オリーブ色からオリーブ褐色、周辺に向かって淡色となり、地はほぼ白色。肉は軟らかく、白色、苦みがある。管孔は離生状となり、初めほぼ白色のち淡黄褐色。柄は白色でほぼ透明なゼラチン様の粘質物で覆われ、粘質物の表面には傘と同色の細点が散在している。
生息・生育状況	従来から発生の確認はまれにしかされていない。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺のマツ枯れなどで環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区、安佐南区）、世羅町（世羅）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ダイダイイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Boletus laetissimus* Hongo

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: なし

概要	夏から秋、シイ・カンシ林やコナラ林などに発生する。 子実体全体が鮮やかな橙色で傷つくと強く青変する。傘の表面はやや綿毛状または無毛平滑で湿時やや粘性を帯びる。柄は無毛平滑で網状紋や縦条紋は認められない。
生息・生育状況	毎年ではないが少数の（1~2本）発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺に作業道が作られ環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ウツロイグチ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Xanthoconium affine* (Peck) Sing.

ハラタケ綱イグチ目 イグチ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、アカマツ・コナラ林やミズナラ林に発生する。 傘は濃赤褐色から暗褐色のち黄土色。柄は暗褐色から褐色で頂部および基部は淡色となり、白色の条紋がある。中実。肉は白色。孔口は類白色のち黄褐色となる。傷つくと褐変する。
生息・生育状況	毎年ではないが少数（1～2本）の発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の作業道が作られ環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）、北広島町（豊平）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ルリハツタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Lactarius subindigo* Verbeken et E.Horak

ハラタケ綱ベニタケ目 ベニタケ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、マツ林、ナラ林、シイ林などに発生する。 傘は径5～10 cm, 表面は藍青色で濃色の環紋をあらわすが、古くなると退色し、淡汚黄褐色。ひだはやや密で藍青色, 傷つくと緑色に変わる。柄は傘とほぼ同色。乳液は藍色で少量分泌され, 空気に触れれば緑変, ほぼ無味。
生息・生育状況	毎年ではないが県内各地で少数（1～2本）の発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地が公園として管理されたり周辺の樹木が伐採されたりと環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市（東区）、庄原市（東城）、安芸太田町（筒賀）、北広島町（千代田）

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## シロアンズタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Gloeocantharellus pallidus* (Yasuda) Giachini

ハラタケ綱ラッパタケ目 ラッパタケ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	秋、スギ林やモミ林に発生する。 全体白色で、幼時は臼歯形のち不規則に広がった漏斗型。肉質で、傘は裂けやすく、表面はなめらか。 柄は偏心生から側生、ときに2~3回枝を分け、内部は充実、根元に微毛がある。
生息・生育状況	毎年ではないが少数(1~2本)の発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地周辺の開発され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区)、庄原市(西城)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## ヤマブシタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Heridium erinaceum* (Bull.) Pers.

ハラタケ綱ベニタケ目 サンゴハリタケ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	夏から秋、広葉樹の立木や枯れ木に発生する。 子実体は傘を作らず、倒卵形から球形、上面を除く全面から長さ1~5cmの無数の針を垂らす。初め白色、のち淡黄褐色。肉は柔軟で、大小の孔が散在しスポンジ状。ときにわずかな苦みのあるものもある。
生息・生育状況	毎年ではないが少数の発生が時々確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地が公園として管理されていたり周辺の樹木が伐採されていたりと環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	庄原市(西城)、廿日市市(吉和)、北広島町(芸北)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## マイタケ 準絶滅危惧(NT) NT-c

*Grifola frondosa* (Dicks.) S.F.Gray

ハラタケ綱タマチョレイタケ目 マイタケ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	秋, 太いミズナラの根元に発生する。 扇形からへら型の傘が多数重なり合って集団塊を作る。ときに1集団塊が径50cm, 重さ5kgを超える大きさになる場合もある。傘は初め黒色から黒褐色, しだいに色が薄くなり灰褐色～淡褐色になる。表面には不規則な環紋と放射状の繊維紋が見られる。管孔は長さ1～3mm, 白色で柄に垂生する。肉は薄く白色。
生息・生育状況	毎年少数ながら確認されている。発生地は限られている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	食材としての価値が高いため過度の採取により発生地が荒らされており環境の変化が心配される。
特記事項	—
産地情報	庄原市(西城), 廿日市市(吉和), 北広島町(芸北)

広島きのこ同好会・比婆科学教育振興会 1992. 広島県のキノコ. 278 pp. 中国新聞社, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

## コマタケ 準絶滅危惧(NT) NT-b

*Amauroderma rugosum* (Bl. et Nees) Torrend

ハラタケ綱タマチョレイタケ目 マンネンタケ科

環境省: なし

広島県 2011: NT

広島県 2003: NT

概要	広葉樹林内の地上または地下に埋もれる枯れ枝から発生する。 子実体は有柄, 柄は直立性, ほぼ円形の傘の中心または偏心生, 基部は根のように地中にのびる。傘は径2～10cm, 厚さ4～7mmほど, 表面は殻皮をこうむり, 灰褐色から褐黒色になり, 放射状のしわ状の隆起と同心的環紋を表す。傘の下面は初め白いが, 間もなく灰褐色から暗黒色になる。生育時の子実体は傷つけると血紅色に変わり, ついで紅褐色から暗黒色になる。
生息・生育状況	県内では1か所発生地があり, 朽ち木から発生している。朽ち木の養分がなくなるにつれ発生量も落ちてきているように思える。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	子実体が発生している朽ち木の養分がなくなれば発生も止まってしまう。
特記事項	—
産地情報	広島市(東区)

山手万知子 1988. 牛田山のきのこ. 牛田山の自然, p. 57-71. 広島女学院大学, 広島.

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**マツバハリタケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b  
*Bankera fuligineo-alba* (J.C.Schmidt) Coker et Beers ex Pouzar  
 ハラタケ綱イボタケ目 マツバハリタケ科

環 境 省: DD  
 広島県 2011: NT  
 広島県 2003: なし

概 要	秋, マツ林に発生する。 傘は白色から茶褐色。子実層托は柔軟な針状で白色だが, しだいに材木色になり, やわらかい。柄は太短く, その断面は白色で放射状模様をもつ。芳香あり。
生息・生育状況	毎年ではないが数年おきに発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	マツ枯れによりマツ林が減少していくにつれ発生量も減少している。
特記事項	—
産地情報	府中市(府中), 廿日市市(大野)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

**カラストケ** 準絶滅危惧(NT) NT-b  
*Polyzellus multiplex* (Underw.) Murrill  
 ハラタケ綱イボタケ目 イボタケ科

環 境 省: なし  
 広島県 2011: NT  
 広島県 2003: なし

概 要	夏から秋, 針・広葉樹林に発生する。 傘は薄く, 青みを帯びた紺色から濃い藍黒色で, ほとんど黒色に見えることがある。子実層托は灰白色から灰青色で低い隆起をもつしわひだ状, 柄に垂生する。乾燥時にはヒジキ様のおいが強くなる。
生息・生育状況	県内では発生地は1か所であるが毎年ではないが時々発生が確認されている。
存在を脅かす要因・ 保全の留意点	発生地の周辺が公園として管理され環境が変化している。
特記事項	—
産地情報	神石高原町(三和)

Fairy Ring (広島きのこ同好会会報) 2011-2020. 広島きのこ同好会.

(川上嘉章)

